



NPO PTPL “ともいき” 便り No.133

平成 29 年（2017 年）10 月 23 日発行

■霜降（そうこう） 10 月 23 日から 11 月 6 日までの節気

「霜降」の節気です。

寒さが次第に強まり、冷気で露が凍って薄い霜が降りるころです。秋の終わりを惜しむように、野山は紅葉・黄葉で美しく装いはじめるころです。

10 月半ばあたりから、冷たい雨の日が続いています。いっきに晩秋を乗り越し初冬になった感がする今日この頃です。急激な気温変化には皆さま体調には十分にお気をつけ下さい。

●月を愛でる

日本人は自然をほんとうに愛する国民です。その証拠に日本人は「自然を愛でる」ことを好んできました。

例えば、春はサクラの花見で「花を愛でる」。冬は雪見で「雪を愛でる」。秋は紅葉、黄葉の紅葉狩りで「紅葉を愛でる」、さらに月見で「月を愛でる」など四季折々の自然からの送りを愛でてきました。

いまの時季、特に澄み切った夜空に姿を見せるお月様は一段ときれいですね。。

みなさんは三月見をご存知でしょう。

今年の三月見は 10 月 4 日が「十五夜（中秋の名月）」、そして霜降の節気期間中の 11 月 1 日は「十三夜」、さらに 11 月 27 日（月）が「十日夜」です。

さて、「十三夜」は「十五夜」に次いで美しい月といわれ、十五夜から約 1 か月後に巡ってくる十三夜を日本人は昔からとても大切にしてきました。

残念ながら、今年の十五夜は見えられませんでした。当日、十三夜見られるといいですね。

●11 月 6 日（月）は「一の酉」

今年も「お酉さま」の時季を迎えます。

東京では、浅草の鷲（おおとり）神社、新宿の花園神社が有名で夜中まで多くの参詣客で賑わいます。

最近はあまり行かなくなりましたが両神社ともメインの道路から本堂までのアプローチが短く、かつ狭いので先に進むのにかなり苦労します。しかし鷲神社では有名人、著名人の名入りの大きな熊手が飾られます。これを見るのも一つの楽しみです。

今年は三の酉まであります。（二の酉は11月18日、三の酉は11月30日）。久しぶりにどちらかの神社にでかけ、人混みにもまれようかとも思っています。（あくまでも天候次第ですが・・・。）

●トラフグの日

話題をかえて、10月29日は「トラフグの日」ってご存知でしたか？ 単純な「と(10)らふ(2)ぐ(9)」の語呂合せですが、いかにも日本人らしいですね。

フグや牡蠣など鍋料理が恋しい季節になりました。これに日本酒が加わると秋の夜長が一段と楽しくなります。

佐藤 誠 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 事務局)

■ともいき・ともうみ・ともさち、そして和。それは日本的なるもの「ジャパネスク」

★紅葉と黄葉。

昔は、秋に木の葉の色づくことを「もみじ」と呼び、万葉集では黄葉（もみぢ）を詠んだ歌の方が紅葉（もみじ）よりずっと多いと、ものの本にありました。それがいつしか紅葉こそ月と並ぶ日本の秋の景物とされるようになりました。紅く彩づく木の葉はすべて紅葉なのに日本人の心には楓こそ紅葉なのでしょう。

●楓といえば、古くから和歌や詩歌に読まれ、美術・工芸品にその形をとどめるように日本人に親しまれてきたものですが、カエデという呼称自体は特定の一つをさすものではなく、カエデ属の植物全体の総称として用いられるものです。

そもそも日本の山野には、イロハモミジ、オオモミジ、ハウチワカエデ、トウ

カエデなどの 20 種を超す種が野生し、しかも広い範囲に分布しており、それらが秋に美しく紅葉、黄葉して、人目を引きやすいことなどが、これほど愛され、親しまれることにつながっているものと考えられます。

また、カエデ類のことを俗にモミジ（紅葉）と呼びます。これは紅葉、黄葉の美しい種類の代表としてカエデ類がとくに印象づけられることによります。

霜の降りる晩秋の頃になると、落葉樹の葉は一斉に色づきます。赤あり黄色ありで、日々その色を深め、やがて葉を散らします。

赤の代表はなんといっても楓です。その美しさは他の追随を許さぬところから紅葉といえ、普通は楓紅葉をいみます。とはいえ、その他の色を変える落葉樹の場合も、やはり赤ければ紅葉、黄色く色づけば字こそ違え同様に黄葉と呼ばれています。

標高のある山中に分け入ると、常盤木の緑に混じって色とりどりの紅葉、黄葉が山肌をおおい、見事なだんだら模様を描いているのに出会います。その美しさには魂を奪われる思いがします。日本人の季節感やものの感じ方、ものの見方、日本人の感性や美意識を強く感じます。「ジャパネスク」です。

もう 1 か月もすれば、街路に連なる銀杏も黄葉の時季になりますね!!

★「誰かと日本の話がしてみたい」日本について話し合いませんか!!

毎日の生活のなかであなたが見る、感じる、考える日本的なるもの（ジャパネスク）とは何でしょうか?!!

フェイスブック「不思議・驚き・魅惑のジャパネスク」や「ジャパネスクサイト」にコメントや投稿をお願いします。

ジャパネスクサイト：<http://www.japanesque.tokyo/>

皆さんのコメントや投稿を通して、意見交換やお話ができることを期待しています。

ジャパネスク



勝田 祥三 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事長)

■事務局便り

●「ともいき暦」2018年度版制作中。

「ともいき暦」2018年度版を年末の冬至の節気にあわせるべく、いま、急ピッチで制作中です。

今回は難しいですが、こんな項目を入れればどうかなど、皆様のご意見など頂き、少しでも反映できればと考えています。

どうぞよろしく申し上げます。

●是非、NPO PTPL が企画制作運営するサイト・FB をご覧ください。

「NPO PTPL 公式ホームページ」：<http://www.plantatree.gr.jp/>

「ジャパネスク」：<http://www.japanesque.tokyo/>

「ともいき暦」：<http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/2016/>

「ともいき ぐらし」：<https://www.facebook.com/tomoikigurashi>

「おらが富士 計画 ふるさと山」：<https://www.facebook.com/oragafuji/>

「不思議・驚き・魅力のジャパネスク」

<https://www.facebook.com/japanesque.tokyo/>

●会員募集のご案内

NPO 活動を推進していくためには、多くの皆さま方のご支援・ご協力が不可欠です。

NPO PTPL では、常時、個人会員と法人会員を募集しています。この便りをお読みの方で、ご本人またはお知り合いの方々にご案内いただければ幸いです。お力添えのほど、どうぞよろしく申し上げます。

詳しくは下記まで、メールまたはお電話・FAX にてお尋ねください。

NPO PLANT A TREE PALNT LOVE 事務局

〒141-0022 東京都品川区東五反田 2-7-11 東都ビル 201 号

電話：03-6432-5911 FAX：03-6432-5912

Email：info@ptpl.or.jp